

異常気象に対する防災対策は十分か

防災計画に基づき広報を行い被害の軽減をはかっていく



児玉 孝徳 議員

近年の異常気象で、甚大な災害が日本中で多発している。

7月3日には町内全域に警戒レベル4の避難指示(緊急)が出され、菱田川は氾濫危険水位を超え堤防が決壊寸前となり、大勢の方が避難した。町民に適切な情報をいち早く伝え、避難させるには防災意識を高める必要があるがその対策は十分か

地域防災計画に基づき整備し防災無線で広報していく

町長

大崎町地域防災計画に基づき避難所を開設し、防災行政無線や消防団による広報などを行っている。今後も避難態勢の整備に努め、人的被害の軽減をはかり、平常時より繰り返し災害時

の早期避難を伝えていく。



7月3日の大雨で決壊寸前の菱田川

堤防のかさ上げは出来ないか

児玉議員

菱田川が決壊した場合、多くの世帯が床上まで浸水すると予想されるが、堤防のかさ上げは出来ないか。

かさ上げを県へ要望していく

町長

管轄は県であるが、これまでも県や国にお願いを重ねている。

菱田川は7m10cmが氾濫危険水位の高さであるが、7月3日の大雨では6m80cmぐらいまで水位が上がった。地域住民の生命財産を守るため、今後も関係機関と連携をとり、要望活動を続けていく。

消防団へ水害救助用ゴムボートを配備すべき

児玉議員

水害時に要配慮者は単時間で危険が及ぶ場合がある。いち早く救助するには、東串良町のように消防団へ水害救助用ゴムボートを配備すべきではないか。



水害時に住民を安全に救助するためのゴムボート

消防幹部会の意見を聞き検討する

町長

水害救助用ボート配備は品質

や保管場所、捜索態勢など検証課題も多いことから、必要性も含めて消防幹部会の意見を聞き検討する。



地域住民と楽しく交流を行う技能実習生

外国人への避難情報伝達が素早くできるよう取り組み

児玉議員

大崎町にも多くの技能実習生などの外国人がいるが、言葉の壁があり、災害情報が伝わらない。いち早く災害を知らせ避難してもらうために、外国語のパンフレットや、広報用の録音ソフトを作るべきではないか。

雇用先と検討していく

町長

災害時の外国人の避難対策の必要性は感じている。今後は災

ペットの避難所開設を考えるべきではないか

児玉議員

最近ペットも家族という方が増えているが、避難所に一部屋預り所を設け、ゲージなどで自分で用意したら預けられる、ペットの避難所は出来ないか。

ゲージを用意して風雨をしのげる屋外避難になる

町長

避難所には多くの住民の方が来られ、中にはペットの苦手な方もいる。現状では、ペットと一緒に避難する場合は自分でゲージを用意し、雨、風などをしのげる屋外での避難になる。



家族同様のかわいいペット